

義母と近くの広場
横の道で作業中
散歩で森林辺りま
でハダカで自然

夏も終わり。蒸し暑さは少なくなったが
カラッとまだまだ暑い。

義母はジーンズ。太ももが見えている。
ソファに座りながら短めの靴下を穿
いている。

.....たっぷり氷の入ったアイステ
ィーのガラスコップをゆっくりと口へ
運んだ。

近くの広場でね・・・・・・・・。

楽しそうなフェスティバルがあるらしい。

義母は続けた。

夏の終わりのフェスティバル・・・他にもたくさん街のいろんな場所で行われている。

広場のフェスティバルはどこかの小さな会社の催しのように地域の住民のお

祭りなどではないようだ。

距離的・・・・空間的・・・・そして
夢。

カラッと暑い中で・・・・・・・・空は午後になつて曇り義母は下着を穿いている。

雨が降ってきそう・・・・・・・・。

広場フェスティバルは自宅からすぐ近くの道路。その横を義母はお尻に手をやり通りかかった。事前に一応計画はして

いたのではあるが・・・。

「・・・・・・・・何か手伝おうよ・・・・・・・・」

そう言って義母はすぐそばに落ちている紙コップを拾った。

それは・・・・・・・・・・。

・・・・・・・・・・日常の小さなボランティア
である。

(体験版は以上になります。ご読了あり
がとうございました)